

第 68 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 令和 6 年 3 月 6 日(水)午前 10 : 30～11 : 30

2. 開催場所 和歌山県田辺市宝来町 8-21 泉ビル 2 階

3. 委員の出席 委員総数 : 6 名

出席委員 : 4 名

出席委員の氏名 : 野村悠一郎、安達克典、小倉拓、

浅山誠一

欠席委員の氏名 : 畠守彦、橘智史

放送事業者側出席者氏名 : 泉清、安田豊、安田正、

生田奈穂、濱田由希子

欠席者氏名 : 洞周作、大崎健志

議題 1) 局側挨拶 (現状報告)

2) 議題

☐番組聴取

1 月 25 日(木)と 3 月 5 日(土)に放送しました「能登半島地震の被害
状況について」のインタビューと、2 月 25 日(日)に放送しました「第

10 回南紀田辺 UME ロードマラソン特別番組」のダイジェスト音源
をご聴取、ご意見・ご感想

3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

局側挨拶・報告

1. 局側挨拶

本日はご出席いただきありがとうございます。風邪もひかずに順調に業務をやっております。前回からの期間にはマラソンを中心にいろんな行事がありまして、中継なども行いました。これから先はマラソンではないものの中継も始まっていきますけど、順調に放送も出来ておりますので良かったなと思っています。

2. 議題

～番組聴取～

（「能登半島地震の被害状況について」のインタビュー（インタビュー先：元田辺市教員で石川県能登町七見にお住まいの濱中真哉さん）

野村：生の声を取材されていて素晴らしいですね。

安達：限られた時間の中でのインタビューだったと思いますが、何が必要で何が有難かったのかということがよく分かりました。水が一番大事なんだと、あらためて認識しました。井戸水のお話もありましたが、なかなか今井戸水を保持している人が少ないと思うのですが、山間部に行けば谷からの湧き水とかホースで引っ張ってくる方法などあるのですが、街中で今後そういう所も再点検していかなければならないんじゃないかなと感じました。また、我々の給水車が活躍してくれているだのと知ることが出来ました。最近までこの地域には給水車がなかったので、ダンプにタンク（水）を積んでいくというのがほとんどだったのですが、今回のように活躍して喜んでくれているというのが非常に有難いと感じました。

生田：ありがとうございます。給水車への感謝のお言葉もありましたので、田辺市消防本部や市長、防災まちづくり課などにもインタビュー音源をCDにして配布させていただきました。

浅山：本当に大変な状況のなかインタビューに答えていただいた濱中さんには感謝というところと、CDをお渡ししたというお話もありましたが、本当に聴いてくれたらベストですが聴かない可能性もありますので、今回でしたら井戸水の事とか貯水層の屋上の話とか、

ポイントを書き出して書面化してお渡しすると、より聴いてもらえる効果は高まるのかなと感じました。

小倉：最初、被害状況について何をするんだろうなと思っていましたが、聴いたら思った以上にリアルな感じがものすごく良かったです。田辺と縁のある人だったので、余計身近に感じる事が出来てより密着した感じがありました。

安田豊：インタビュー音源を配布する際、ポイントを書面化してパッと見て分かるようにすると良いというのは、おっしゃる通りだなと思いました。

～番組聴取～

（「第10回南紀田辺 UME ロードマラソン特別番組」ダイジェスト）

安達：レースの途中なんかもリアル感を出しながら上手に中継されていたと感じました。大会の実行委員の方々は当日聴けてないと思いますが、皆さん大変喜ぶと思います。雨の中本当にありがとうございました。

浅山：当日僕は青年会議所で給水ボランティアを担当しておりました、エイドステーションでラジオを流してくれていました。コースの先が見えないのでランナーがいつ来るんやろうって思いながら待つ

ていたので、中継聴けたのは有難かったです。あと、レポーターの大崎さんが単車で移動されているのを見かけて、この雨の中、機器とか大丈夫なのかなと心配になりました。

生田：機器に関してはスマートフォン一個で中継していますので、カッパを着てしっかりカバンの中などにいれておけば大丈夫かなという感じでさせてもらっています。これまで雨の中マラソン中継というのがなかなか無かったので、一つ良い経験になったかなと思っています。

小倉：大崎さんのいつもと違うテンションのコメントが面白かったですね。ランナーレポートは今回の音源に入っていたのですか？

濱田：9時50分からが10キロの部スタートだったのですが、その直後に中継が入れたのが一回と、途中10時台に沿道の中芳養ASの辺りで応援してくださっている方をつかまえてインタビューをさせていただきました。

生田：今回のダイジェストには入っていなかったのですが、インタビューの途中で最後尾を知らせる車も近づいてきて、追い抜かれないように走らないと、という生放送ならではの面白い展開などもありました。

小倉：是非それも聴いてみたかったです。

濱田：2時間くらいの枠にまとめたダイジェスト版をこの週末に再放送する予定にしております。

小倉：あと、モバイルこたつを使われていましたが、その説明は放送でされたのですか？「こたつでやってます」だけだったら、なんの事か分からない人もいると思うので、せっかくならなぜそれが出来たのかなど流れから含めて説明があつたらいいかなと思いました。

濱田：確かにその通りですね。補足が足りなかったです。

生田：スタジオの近くで見てくださった方からは「こたつや〜」って言うてくださる声も結構ありましたので、その場では「南紀みらいさんで借りれますよ〜」とかお話はさせてもらっていたのですが、放送でもあると良かったですね。

安田豊：ご意見ありがとうございます。今回わたしは現地に行けなくて埼玉県のほうからネットで聴いていました。いろんな中継がありましたが、特に大崎のレポートはこれまでの経験を積んでどんどん上手くなってきたと感じています。一部ネットのトラブルもありましたが、全体としては社員一丸となって雨の中よく頑張って番組が出来たなと思っております。イベント自体も雨の中ではありました

が参加者も多かったようですので、来年以降もこうやって盛り上げていきたいと思っております。

3.その他番組への質問・意見

特になし

4.今後の放送に対する意見・要望

小倉：今回の能登半島地震被災状況のインタビューを聴いて、この機会に災害系をさらに強化していく。単発でも良いですし帯番組でもいいですが、防災対策関係で例えば「今回は非常用持ち出し袋の中身について話しましょう」とか、「今回は避難ルートについて考えてみましょう」とか、雨の時に起きるトラブルや、電気がない時の対策とかネタはたくさんあると思うので。今みなさんの防災意識が高い時に、プッシュしていてもいいのかなと思いました。

泉：需要が高まる時にやった方がいいですね。市役所と連携して9月に防災訓練の特番をさせてもらっていますが、年中やるとなると民間で取り組んでいる方にご協力いただく事もありかなと思います。

小倉：アレルギーとか、子どもの防災、老人の防災、悪天候の防災、雪の日もあれば暑い日もあってその時々状況によって、実際被災

したときに困る事がたくさんあるのは目に見えているので、いくらやってもキリがないくらい出来るんじゃないでしょうか。

泉：知ってても忘れたりしますから、是非意識つけをしていきたいですね。

野村：防災無線が聞こえづらいのも問題ですね。内容も断片的にしかわからない時があります。

泉：田辺市もメールやSNSを使って発信できるようにしていますが、それも全ての人が活用出来ているわけではないですからね。

小倉：メール使える人は携帯のメールで受信してもらうのが一番分かりやすいと思うのですが、防災無線の放送は全域をカバーするのは難しいところもありますね。

泉：そういった情報がうちに入ってくる体制が出来たら、ラジオからの発信も出来るかなと。

浅山：FM TANABE さん少数精鋭でやられているので、いざ発災した時に放送の継続をどうしていくのかなというのと、庁舎が移転しますので臨時災害放送室の接続もこれからやっていかないとけないのかなと。

小倉：担当を決めていても、その人が被災したら動けないとかありま

すからね、大変ですよ。

生田：災害時の時間外の緊急放送につきましては、みんなが自由に動けるという想定で、何曜日だったら誰が出動するなどは決めております。ただ、その時の状況によってうまくいくかは分かりませんので、都度みんなと相談しながら動いていく事にはなると思います。

泉：僕もスタジオと同じビルに住んでいますので、機材が壊れていなかったら何かしら対応出来ます。

小倉：非常用電源はあるのですか？

泉：はい。事務所の外にガソリンの発電機と、ガス用の発電機と二つあります。

小倉：新庁舎の放送ブースは機材を置いているのですか？

泉：今のところそこまでの話にはなっていないです。

小倉：ここから持って行くという形ですか？

泉：まだどうなるか分かりませんが、持って行くとしたら車に積んで運んでいける状況でしたら可能です。

安田豊：防災関連のお話やコメントありがとうございます。わたしたちも大変重要なことだと思っておりますので、これからも **FM TANABE** としてこういった事が出来るのか考えながら取り組んで

いきたいです。また、新庁舎に移ってからの臨時災害局のことなど、
まだまだこれから田辺市と話し合っていかなければいけない事も多い
ですが、これからもご支援いただければと思います。本日はありが
とうございました。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月
日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし